

観月台文化センター ホールリニューアル

震災以降、役場仮庁舎として使用され、4年9カ月もの長い期間にわたり、使用規制されていた観月台文化センター・ホールが12月13日、リニューアル・オープンしました。

同日には、オープンを記念してテープカットを行いました。その後、リニューアル事業第1弾として「第3回復興・絆 和太鼓フェスティバル」が開催されました。国見町からは錦町太鼓保存会が出演し、ホールには和太鼓の鼓動が響き渡り、詰めかけた多くのみなさんと共にホールの再開を祝いました。

12月19日には、リニューアル事業第2弾として「木住野佳子 with Maiko」が開催されました。このコンサートでは観月台文化センターのシンボリックな存在であったピアノ「ペーゼンドルフアー」が4年9カ月ぶりにホールで

演奏されました。これまで役場仮庁舎として利用されていたホールではピアノの適切な管理が困難だったことから、東京で保管をしていました。観月台へ戻ったペーゼンドルフアーはピアノニストの木住野さんとヴァイオリニストのMaikoさんと共に満員の聴衆の前で「ただいま」と嬉しそうに音を奏でていました。

12月26日には「川嶋あい」さんが、今回のリニューアル事業の最後を締めくくりました。今回のコンサートは、被災地支援を続ける川嶋さんが、観月台文化センターの状況を聞きつけ、全国ツアーの一環として実現したコンサートでした。

アンコールでは、南相馬市で活躍している中高生合唱団「MJCAアンサンブル（南相馬ジュニアコーラス・アンサンブル）」との共演で新曲「とびら」を披露するなど「天使の歌声」と称される川嶋さんの透き通った歌声が観月台のホールに響き渡りました。



オープニングセレモニー



和太鼓フェスティバル



リニューアルした
ホールを彩った
3ステージ



木住野佳子 with Maiko



川嶋あいコンサート

再動

観月台文化センターホール